



学校だより

江戸川区立小松川第二中学校

令和7年 7月15日 発行

夏の総体で感じたこと

副校長 猪熊 英喜

先日、私はソフトテニス部と男子バスケットボール部の総体の応援に行ってきました。どちらの部活も、普段から試合に向けて日々努力している姿を見てきましたが、実際の試合を通じて、選手たちの成長と熱い思いを肌で感じる事ができました。

まず、ソフトテニス部の試合では、ペア同士の強い信頼と連携が光る瞬間がたくさんありました。試合が進む中で、ペアがお互いの目をしっかりと見合い、言葉にしなくても伝わる「任せて（任せた）」という気持ちが感じられました。どのプレーも、お互いを励まし合い、次のチャンスに向かって全力で挑んでいました。特に、ポイントを取った後の嬉しそうな表情が印象的でした。試合の中での一つ一つの瞬間が、チームワークや絆の深さを物語っていました。結果はどうあれ、お互いに全力を尽くし、仲間と共に挑んだ姿勢に感動しました。

そして、男子バスケットボール部の試合では、チーム全員の息の合ったプレーに圧倒されました。速い展開の中で、ボールをつなぎながらも、一人一人が自分の役割を全うし、チームのために戦っている姿に心を打たれました。得点を重ねるごとに会場全体が一体となり、応援の声も大きくなり、まるで一つの大きな力が生まれているようでした。試合後の疲れた表情の中にも、「もっと上を目指すんだ」という気持ちが見え隠れし、その姿に感動せずにはいられませんでした。

どちらの部活も、結果だけでなく、過程や精神的な成長をしっかりと見せてくれました。私はこれからも、選手たちが困難を乗り越え、さらに成長していく姿を応援し続けたいと思います。また、今回応援に行けなかった部活の試合や今後行われる発表会等にもできるだけ足を運び、みんなの頑張りを見守りたいと思いました。どの部活も、練習の成果を発揮できる場面が必ずあると思いますので、その一瞬一瞬を一緒に応援していきましょう。

◆7月の予定◆

日	曜	行 事	日	曜	行 事
10	木		25	金	
11	金	移動教室（2年）終	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	三者面談終
14	月		29	火	
15	火		30	水	
16	水		31	木	
17	木	大掃除（6校時） 給食（終）			
18	金	終業式 安全指導 避難訓練			
19	土	PTA 二中フェスティバル			
20	日				
21	月	海の日 夏季休業日始			
22	火	三者面談始			
23	水				
24	木				

◆学校の様子◆

○移動教室（2年生）

9日（水）から11日（金）までの3日間、長野県茅野市にある車山高原に行きました。1日目は、車山山頂を目指してトレッキングをしました。特に下りはおつごつした石や急な傾斜に体力を奪われていました。2日目は、各農家に分かれ体験をしました。雑草を取ったり収穫の手伝いをしたりして、農家の苦労や食べ物大切さを痛感したようです。中には、珍しい岩石を見つける体験をした班もありました。3日目は中山道の宿場町近くで昔から行われていた紙漉き体験を行いました。自然や歴史を存分に感じた3日間でした。

◆人権のはなし～大人が学ぶ人権コーナー～◆

○子どもの権利を見つめ直す

子どもにも、大人と同じように意見を言い、安全に暮らし、教育を受ける権利があります。家庭や学校においても、子どもの声にしっかりと耳を傾け、その思いや考えを尊重する姿勢が求められています。「子どもだから」と決めつけず、心を開いて対話することが、信頼を築く第一歩だと思います。